

中間報告書

助成番号 第 42-2 号  
 助成研究名 災害時移動困難者・避難者支援のためのバリアフリー・シュミレーションゲームの開発  
 助成期間 平成 25 年 8 月 ~ 平成 27 年 2 月 ( 19 ヶ月間)  
 所属 学校法人梅檀学園東北福祉大学  
 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科  
 氏名 岡 正彦  
 中間報告の期間 助成決定から平成 26 年 2 月までの研究

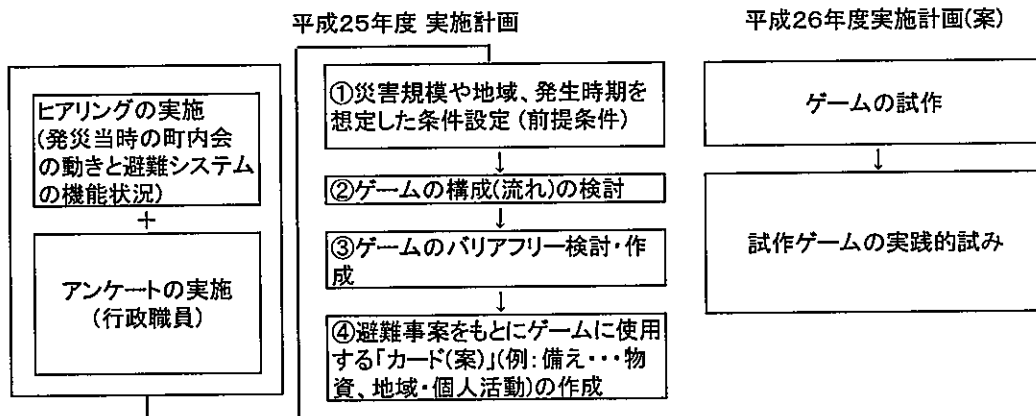
1. 目的

本研究は、東日本大震災でのあらたな大きな問題となった移動弱者などを含めた災害時要援護者などへの支援のあり方、新たな防災・減災意識の向上と普段の『備え』に意義を求め、実際の避難事案をもとに新たなリスコムニケーションのための災害時移動困難者・避難者支援バリアフリー・シュミレーションゲームを考案するとともに、実際の避難事案をもとに避難所住民(一般住民と障害者)、避難所運営関係者(行政、小学校等指定避難所)を含めた住民等の利用者や地域の講習会などでの検証を繰り返し行いながら、住民自らが利用できるようにする。さらに、机上演習による災害時の判断能力の向上とゲーム参加者の深層心理への働きかけにより障害者のニーズと一般市民、避難所運営関係者の支援・受け入れ意識の齟齬(バリア)を解消することを目指す。

2. 研究手順

- 1) アンケート、ヒアリング調査・集計・分析
  - ・被災地区(仙台市内)の町内会関係者及び行政職員に対するアンケート調査結果の分析
- 2) 課題、問題点等の抽出
- 3) シュミレーションゲームの方向性等の検討
- 4) ゲーム案の骨子 検討・作成
- 5) ゲーム案の試行
  - ・行政職員研修内での評価(ロールプレイングによる評価)

2-2. ゲーム開発手順



3. 研究成果

- 1) 調査
  - ① ヒアリング調査
    - ・仙台市太白区内町内会関係...防災システムの構築経緯と発災時のシステムの効果(機能)について
  - ② アンケート調査
    - 行政職員(仙台市泉区)に対するアンケート調査
      - ・対象...避難所担当、避難所統括の立場にあたる職員
      - ・目的...既存の防災ゲーム(避難所運営等)から得られる効果と行政職員(被災体験者)が必要と感じた防災意識の高揚効果
      - ・実施回数 4回 アンケート回収 総数70名(100%)
      - ・ヒアリングやアンケートから見えてきたこと
        - 近隣住民間の恒常的なコミュニケーションの有無が発災時や一次避難時に様々な影響をもたらす。
        - 避難所での情報管理の重要性(避難所の運営者)
- 2) ゲームの骨子検討
  - ・「避難所活動班 疑似体験～避難所“KIT”を使って～」(仮称)
    - \* KITとは、活動(Katudou) イメージ(Image) トレーニング(Training)の頭文字をとったもの
  - ・被災地での体験に基づく避難所内での活動班の活動内容をイメージトレーニングするツール
  - ・避難所内で各活動班が効果的に活動ができるためには、他の活動班とどのような連携を必要とするか認識

することを疑似体験から学ぶ

・高齢者やロービジョン者など文字等が見えにくい、コミュニケーションが取りにくい障害者用に音声ペンを使用したコンテンツも併用する(ユニバーサルデザイン)

・避難所内の想定される活動班と名活動内容の例 (検討項目)

班名	主な活動内容
名簿班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 避難者の把握</li><li>* 食料の供給や避難所のスペースの割振りのため、避難者の数を把握します。</li><li>* 安否確認などに必要な、避難者名簿を作成します。</li><li>* 避難者の入所や退所を管理します。</li></ul>
総務班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 避難所の空間配置</li><li>* 避難所の居住・共有スペースを設置します。</li><li>* 避難者の数や災害時要援護者の有無など、避難所の状況に応じて、レイアウトの変更や他の施設の活用などを検討します。</li><li>○ 避難所のルール・防火・防犯</li><li>* 避難所のルールを掲示し、避難者に周知徹底します。</li><li>* 防犯・防火の徹底のため、当直者や見回りの割り振りなどを行います。</li><li>○ ボランティアとの協力</li><li>* 避難所内での活動に必要なボランティアの要請を担当します。</li><li>* ボランティアの受け入れと、活動の調整を行います。</li><li>○ 各種情報の受発信</li><li>* 区災害対策本部から受信した災害や支援の情報を避難者へ伝達します。</li><li>* 避難所への安否確認の窓口となります。</li><li>* 避難者への郵送物の取次ぎを実施します。</li><li>○ その他の調整</li><li>* 運営会議開催の調整や、運営会議の記録を担当します。</li><li>* 各町内会などで実施する在宅被災者(避難所へ避難できない方)への支援などの対応を実施します。</li></ul>
情報広報班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 各種情報の受発信</li><li>* 区災害対策本部への報告や要請など、情報の発信を行います。</li><li>* 区災害対策本部から受信した災害や支援の情報を避難者へ伝達します。</li><li>* 避難所への安否確認の窓口となります。</li><li>* 避難者への郵送物の取次ぎを実施します。</li></ul>
食糧・物資班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 食料・物資に関すること</li><li>* 食料・物資の必要数を把握します。</li><li>* 食料・物資の要請などにより調達を行います。</li><li>* 食料・物資の管理と配付を行います。</li></ul>
救護班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 救護・支援に関すること</li><li>* けが人への応急手当や、緊急時の救急要請などを行います。</li><li>○ 災害時要援護者への対応</li><li>* 高齢者や障害者、妊産婦や乳幼児、外国人など、避難所で手助けが必要な方への支援を行います。</li></ul>
衛生班	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 避難所トイレの確保</li><li>* 避難所のトイレの確認と、確保を行います。</li><li>* 正しい使用に向けてルールを徹底させます。</li><li>○ ペット連れ避難者への対応</li><li>* ペットスペースの確保を行います。</li><li>* ペット連れ避難者へのルールの周知や飼育状況の確認を行います。</li><li>○ 水の確保</li><li>* 飲料水のほか、手洗いなどに使用する生活用水を確保します。</li><li>○ 衛生環境の整備</li><li>* ごみの集積や清掃の実施などを管理し、避難所の衛生を保ちます。</li><li>* 衛生管理を徹底させて、感染症などを予防します。</li></ul>

#### 4. 次年度の研究計画(予定)

##### 1)ゲーム開発の継続

①「避難所活動班 疑似体験～避難所“KIT”を使って～」(仮称)を用いた試行

①-2 シミュレーションゲームの試行対象者の拡充と改善展のフィードバック・整理

2)シミュレーションゲームのユニバーサルデザイン化

・障害者や外国人向けのコンテンツ(音声ツール)も併せて制作・試行